

Spring Seminar 2018 5th C Table 総評

Judge: 沖重（上智）

● 結果

- 1 位 小沢（3）青学
- 2 位 側島（2）東洋
- 3 位 小林（2）青学
- 4 位 遠藤（2）高崎経済
- 5 位 伊藤（2）高崎経済
- 6 位 池田（2）高崎経済



● 議論の流れ

Narrowing

側島が体罰のモデルオピンを提示して OP に選出された。

コンパリアイデアについては、ADTG(=Student)は Physical Pain を望んでいないかつ回避できないが、DATG(=Teacher)は望んで Physical Pain を受けており、回避も可能というものだった。ここで DA を巡り小沢から複数 Q が飛んでいた。

側島の DATG のイメージがテーブル全体に落ちきっていなかった印象がある。

ASQ（約 40 分）

順調に進んだ。

教師が自己防衛のために体罰を行う場合についても don't consider である点について、小林が NFC に対する doubt の存在を示唆した。

また、S/M の term についても小林が objection の存在を宣言した。

NFC（約 30 分）

小林が warrant に対して term の話に関連した objection を提示した。これに対しては小沢が Q を通じて OP との crush は S/M を時間で解決されるか M で解決されるかであることを引き出した。続けて側島が、「M によって救われる TG の不存在」の証明責任を小林に示し、最終的にコンパリで DA として話すという結論に至った。

～休憩（15 分）～

PLAN（約 1 時間）

Sol で objection が三つ出た。

① Praca objection by 遠藤

「教師が減る→残業が増える→教育の質低下→no praca」というもの。

小沢がこのストリームは可能性の話であり、このようなストリームが発生しない可能性も遠藤は認める、ということを引き出し、両方可能性＝off set という結論に落とした。

② 1st Worka objection by 小林

「SQ で体罰を隠している→APA も隠す→no worka」というもの。

こちら側島と小沢により隠さないケースが存在するという小林に認めさせ、off set という結論に落とした。

③ 2nd Worka objection by 伊藤

「教師が減る→ストレス増加→体罰が増える→no worka」というもの。

こちらは側島と小沢により伊藤も A/L/1 decrease は認めるということを引き出し、コンパリで Teacher の S/M として話そうという結論に落とした。

DA 決め

三人の候補者が出て小林の DA が選ばれた。

小林：生徒が教師に先制攻撃した場合、教師は体罰を加えられず S/M

伊藤：教師が減少した場合、教師はストレスを感じる

小沢：教師が失職する

～休憩（約 10 分）～

Comparison

OP のコンパリアイデアについて、小沢が Q によって OP のコアが加害者－被害者という関係性にあることを引き出した。

これに対し小林が、生徒が先に攻撃した場合、被害者は生徒ではなく教師ではないか、という doubt を示した。これを発端に C/P と violence の境目についての激論が交わされた。しかし、各自自分の主張や見解を述べるにとどまり話が進むことはなく、時間切れを迎えた。

● 選定基準

1 位 小沢（3）青学

積極的な介入、議論を収束させる発言を評価しました。自分で話を先導しつつ、他者の介入もバランスよくこなしており良かったです。コンパリではテーブルメンバー全員が落としどころを見

つけられず主張を述べるに留まっていたので、ここで各員の主張をまとめる、あるいは話し方の提示をする、など出来ていればもっと良くなったでしょう。

2位 側島（2）東洋

オピニオンプレゼンターとしてコンパリの検証まで話を持って行けた点、要所での的確な介入を評価しました。アトモスも良く、気持ちの良いディスカッションが出来ていたと思います。自分のアイデアをもっと具体的に伝える、追い付いていなさそうな人がいればそこにも気を配る、等が出来ればより良くなるでしょう。

3位 小林（2）青学

積極的なオブジェクションの提示、DA プレゼンターに選出されたことを評価しました。オブジェクションから一貫性のある DA を出せており、良い戦略だと感じました。オブジェクションを流されないために何をすれば良いかを考えて練り直せばさらに良いアーギュメンターになれるでしょう。

4位 遠藤（2）高崎経済

オブジェクションの提示を評価しました。ストリームを書いてアイデアを整理したうえで練り直せばより良いオブジェクションになると思うので、頑張ってください。

5位 伊藤（2）高崎経済

オブジェクションの提示を評価しました。教師側の状況に着目したのは面白いと思います。プレストでこれを深めればもっと面白くなると思うので頑張ってください。

6位 池田（2）高崎経済

インナー同期が多く、大変だったかと思います。まだあと一年あるので、今回の春セミの経験も活かして自分のやりたいディスカッションを見つけてみてください。